

## JGA イヤーエンド交流会 2025 12月17日(水) 終了報告



年末恒例の JGA イヤーエンド交流会を 12 月 17 日(水)に開催しました。東京・江東区の森下文化センターにて開催、総勢 140 名の盛会となりました。

全国通訳案内士は 102 名(会員 90 名、非会員 11 名)が各地から参加されました。観光・旅行関連の法人や研修等でお世話になった方々など 21 社(賛助会員 15 社)、また、観光庁、JNTO(日本政府観光局)、東京都などからもご参加いただき、にぎやかな交流会となりました。

プログラム前半では、観光庁からご挨拶をいただき、訪日観光の状況、昨今の傾向等お話があり、全国通訳案内士への期待や、全国通訳案内士の周知に関する取り組みの説明がありました。

これだけの人が集まるせっかくの機会ですので、例年、訪日観光のアップデートとなるようなお話をお願いしていますが、今年は東京都産業労働局食材流通促進担当の浅田幸恵様をお迎えし、東京産の豊かな食材と、その新鮮な食材をツーリズムに生かしていく企画等をご紹介いただきました。また、JGA が法人会員となっている日本コンシェルジェ協会の会員を対象に JGA からお願いしたアンケートから抜粋しての報告がありました。当日の参加が叶わなかった会員向けには、あらためて資料として共有いたします。

参加各社からの一言スピーチでは、観光や旅行業の枠を超えた幅広い業種の方々から、全国通訳案内士への期待や、2026 年の展望を聞くこともできました。会員と全国通訳案内士を代表しての挨拶は、参加者で会員歴の一番長い大先輩、矢木野さか恵さん(第一支部)にお願いしました。

後半の歓談タイムは、ガイド同士でおしゃべりしたり、参加された多くの会社の方々とは挨拶をしたり、賑やかなひとときとなりました。仕事の現場ではガイド同士が出会うことも、情報交換をする機会も少ないため、貴重な機会だったとの感想が多くありました。業界関係各者がこれだけ多く、幅広く集う場は貴重で、業種を超えた交流や情報交換がさらに発展していくことを願っています。

JGA は今年 85 周年。伊藤会長の挨拶の中では、創立の経緯や、今につながる無料職業紹介事業、新人研修会、格付制度など、その時々の訪日観光の状況の中で生まれてきた取り組みの背景や意義について紹介がありました。また、ガイド検索システムやトラコン e-book(電子ブック)、郵便に依らない連絡方法など、最近の JGA の取り組みについての説明もあり、歓談タイムには個別の相談コーナーも設けました。10 月に刊行した英文 GUIDE TEXT など書籍販売コーナーにも多くの方に立ち寄りいただきました。

準備から当日の会場設営まで、そして、終了後の片付けにも多くの参加者が協力してくれました。

日付や場所の都合があわなかった会員皆様もいらっしゃると思います。また別の形で交流の機会がもてることを願っております。お力添え下さいました皆様、ご参加下さいました皆様に感謝いたします。

寒さいよいよ厳しい折、皆様どうぞご自愛下さい。新しい年のご健勝とますますのご活躍をお祈りいたします。

(文中の敬称を省略させていただきました)

